

令和3年度 部の運営方針書

シティネットワーク推進部

1 部の運営方針

【部の使命】

- まちづくりに対する市民の意思を幅広く聴取し、市民の声を活かしたまちづくりを推進していくとともに、市民と行政が相互に理解し合える市政の実現に取り組みます。
- シティプロモーション活動を通じて、市の認知度向上とシビックプライドの醸成を図り、本市の活性化につなげ持続可能なまちづくりに寄与します。
- 広報紙やホームページなどの広報媒体を通じて、市が実施する事業やイベント、お知らせなど、様々な市政情報を分かりやすく伝える工夫を行い、積極的に発信します。

【部の目標】

- ①まちづくり提言制度等広聴活動の充実
市民がまちづくりについての提言や意見をしやすい環境を整え、これらの提言等を参考に、庁内連携のもと市政への反映に向けて取り組みます。あわせて、提言者へ回答するとともにホームページや市広報紙等でも市民に広く公表し、市民との情報共有を図ります。
市長と市民が直接語り合う懇談会や広報紙、ホームページ等を活用した市政に関するアンケート調査を実施し、一人でも多くの方の声を聞く体制を整えます。
- ②シティプロモーション事業の推進
関係人口100万人ネットワークのプラットフォームの充実を図り、まちづくりの力となる関係人口の輪を広げる取り組みを展開します。
市民と連携したシティプロモーション活動を推進し、シビックプライドの醸成を図ります。
- ③市政情報の発信
広報紙やホームページ、ケーブルテレビ等を通して、市政情報のより分かりやすい伝わる発信に努めます。
広報紙について、10月より完全にリニューアルし、月1回の発行とします。
市長定例記者会見を毎月実施し、積極的・効果的な情報発信を行います。
- ④ふるさと周南応援寄附金の増収
ふるさと納税制度を活用し、本市の特産品等のPRと財源の確保を図るため、返礼品や受付サイトの拡充を行います。

【働き方改革による業務改善等の取組み】

- 部内で情報共有し連携することで個人への負担を軽減していきます。

2 部の経営資源

(1) 部の体制

職員数	12.25 人	うち	正職員	12 人	・	会計年度 任用職員	0.25 人	人件費	正職員	87,132 千円	会計年度 任用職員	286 千円
-----	---------	----	-----	------	---	--------------	--------	-----	-----	-----------	--------------	--------

※R1職員平均給与(7,261 千円)ベース

※予算計上額

(2) 事業規模

歳入予算額	13,591 千円	歳出予算額	117,680 千円	(正職員人件費を除く)	担当予算小事業数	5 事業	担当課数	3 課
-------	-----------	-------	------------	-------------	----------	------	------	-----

3 部の中期目標（優先順） 第2次周南市まちづくり総合計画・後期基本計画に掲げられた基本施策を実現するための推進施策

目標	推進施策	実現したい成果（最終目標）
1	9 都市経営 2 適正かつ透明な行政運営の推進 4 広報広聴の充実 （市民の声を聞く課）	市民がまちづくりについての意見や提言をしやすい環境をさらに整え、市民と行政がともに分かり合える市政の実現に取り組んでいきます。
2	9 都市経営 1 まちの魅力の向上 1 シティプロモーションの推進 2 シビックプライドの醸成 （シティプロモーション課）	市民と連携したシティプロモーション活動を推進し、効果的な情報発信により、シビックプライドを醸成し、関係人口の拡大につなげます。
3	9 都市経営 2 適正かつ透明な行政運営の推進 4 広報広聴の充実 （広報戦略課）	広報紙、ホームページ、ケーブルテレビなどを通じて、市が進める施策や取り組みなどの市政情報を、市民に、より見やすく、より分かりやすく伝えます。
4	9 都市経営 3 効率的かつ効果的な行政マネジメントの推進 4 積極的な財源の確保 （シティプロモーション課）	ふるさと納税制度を活用して、周南ブランドや様々な特産品等を返礼品とし、シティプロモーションにつなげるとともに、積極的な財源確保に努めます。
5	9 都市経営 2 適正かつ透明な行政運営の推進 5 市民参画の推進 （市民の声を聞く課）	市民参画の機会を確保し、手続きの透明性を高めるとともに、市民参画の実施状況について第三者機関による審議・評価の結果等を取り入れながら、市民参画の推進を図ります。